

# 愛知県養鶏協会便り7号

一般社団法人愛知県養鶏協会

440-0858 愛知県豊橋市つつじヶ丘3丁目4-1

(平成25年5月発刊)

TEL 0532-61-3185 FAX 0532-61-3186

## 2年目を迎えた(一社)愛知県養鶏協会

(杉浦巧倫理事:豊橋市養鶏組合副組合長)

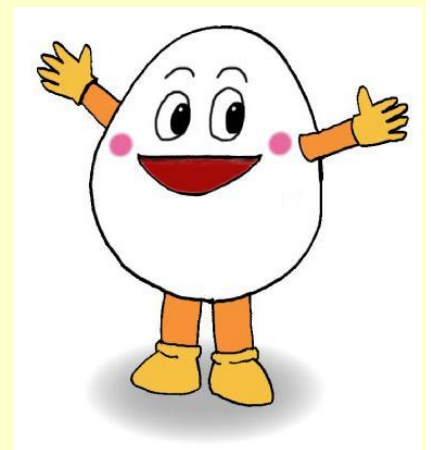
手をつなごう! 愛知のにわとり・うずら

新鮮・安全・安心・増やそう地産・地消!

を基本理念として2期目を迎える当協会は、今年度も下記の諸事業を来る6月20日(木)開催予定の通常総会で承認いただき、会員始め県内全ての家きん農家の経営の安定を支援すべく活動致します。

### 《平成25年度主たる事業内容》

1. 鳥インフルエンザ見舞金制度事業の拡大と拡充に努めます。  
本事業を積極的にPRして、会員の80%が加入される事業にしていけます。
2. 地産・地消を推進し県内産にわとり・タマゴの消費拡大を応援します。  
県内各地区で開催される農業まつりや畜産フェアに協賛したり、「愛知県養鶏協会推奨マーク」使用推進、関連グッズの活用で地産・地消運動を盛り上げます。
3. 家きん防疫に関する技術・情報の普及に努めます。
4. 鶏卵価格差補填事業を支援出来る体制を構築します。
5. 4月開設のホームページの内容充実を図ります。  
閲覧は「愛知県養鶏協会」で検索して下さい。
6. (社)日本養鶏協会関連事業を支援します。



(あいタマ君)

# 成鶏処理流通協議会からのお願い！

(宮本一彦理事：六ツ美養鶏加工協・組合長)

平成23年3月、千葉県での発生を最後に、日本国内で、鳥インフルエンザは確認されて居りませんが、隣国の中国ではH7N9亜型による人への感染で、30人以上が死亡しています。

我が国においても何時発生してもおかしくない状況が続いています。淘汰予定群に対して数日前からの餌切れ・給水制限を続けることは

- A・鶏の体力低下となり、鳥インフルエンザ等に罹りやすくなります。
- B・処理場で死亡鶏が増え、肉やけ・脱羽不良品が多発します。
- C・歩留りが悪く、骨折れで商品価値が低下し、折角見直されてきました淘汰鶏肉の評価を落として、皆様に迷惑をかけることとなります。

## 淘汰予定群の給餌・給水管理を見直して下さい！

1. 淘汰予定群に**制限給餌はしない**で下さい。**淘汰前日の朝しっかり給餌**し、夕方無くなる量を給餌して下さい。
2. **給水は淘汰するときまで**続けて下さい。

変り続ける物販形態に対応し、  
よりよい提案、迅速な供給を心掛け、  
お客様のニーズにお応え致します。



鶏卵パック・PE袋など  
畜産資材・包装資材の提案・販売を行っております。

有限会社  
**古田商店**

〒455-0056 愛知県名古屋港区砂美町127-2  
TEL 052-651-6011(代) FAX 052-651-3210  
e-mail furuta@furuta-shoten.co.jp  
homepage <http://www.furuta-shoten.co.jp>



健康で豊かな食生活のために

私たちは、まっすぐ食卓を見つめています。  
おいしくて健康な肉、卵、魚を食卓にお届けしたい。

伊藤忠飼料は、飼料原料の吟味から、食卓にのぼる食材までを  
きちんと管理・生産している総合食品企業です。



**伊藤忠飼料株式会社**

〒455-0841 名古屋港区一州町86-1 TEL.052-381-9251 FAX052-381-9263  
関西・中部支店 インターネットホームページ <http://www.itochu-f.co.jp>

# 会員の皆様へお知らせ

◎「愛知県養鶏協会推奨」マークをご活用下さい◎



会員の皆様が生産された、たまごや鶏肉を地元愛知で販売される時にご活用いただく推奨マークです。

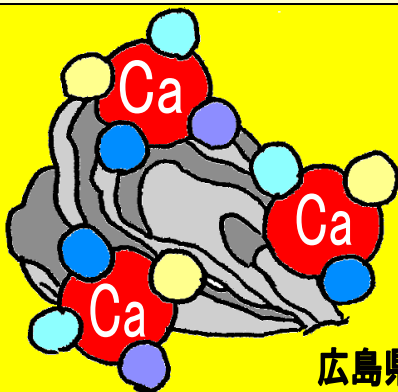
ご使用を希望される場合には、当協会までご連絡ください。

協会から「使用基準」や「申込用紙」をお届け致します。

「使用基準」や「注書き」をご覧いただき、必要事項をご記入の上、申込みください。

平成25年度会費納付お願いを近日中に届けます。

1. 鳥インフルエンザ見舞金制度・平成25年度分掛け金納入と新規加入のお願いも同時にご案内致します。
2. 個人会費・団体会費・賛助会費のお願いと新規加入のお願いも併せてご案内致します。



海のカルシウム  
広島産 **かき殻飼料**

安心・安全をお届けいたします。

丸栄株式会社

広島県広島市中区十日市町一丁目4-31 TEL:082-292-4111

破卵対策  
&  
卵殻強化



# 今こそ防疫体制の見直し時期です！

(愛知県東部家畜保健衛生所)

「H7N9型鳥インフルエンザウイルス」の人への感染が、世界で初めて中国で確認され、パンデミックになるのかその拡がり注視されています



4月16日には、江蘇省南京市で捕獲された野生のハト1羽からウイルスが検出され、野生の鳥を介した感染の拡がり心配されています。

一般的に鳥インフルエンザウイルスの国内への侵入は、11月頃にやってくるカモ類等の渡り鳥によるもので、今の時期は日本へウイルスが持ち込まれる可能性は低いと考えられます。

しかし、春には中国から日本に渡ってくるシギ・チドリ類等があり、今後環境省はそれらについて調査することにしています。

万一、国内で野鳥からウイルスが検出されたとしても、農場への病原体の侵入ルート(人、水、野鳥、ネズミ)を以下の対策で遮断し、皆様の農場を高率的に感染から守りましょう！！

- 対策1. 衛生管理区域に入る時は**専用服・専用靴**を、鶏舎へは**鶏舎専用靴**を着用し、**手指・靴の消毒**をしましょう。
- 対策2. 野鳥の糞が混入していない**衛生的な水**を与えましょう。
- 対策3. **防鳥ネット**を設置して野鳥を鶏舎内に入れないこと。
- 対策4. 鶏舎内外で**ネズミ駆除**を行い進入隙間を塞ぎましょう。

家さん農家の皆様！今一度、**衛生管理基準**を確認し、**衛生管理力向上**に努めましょう。**死亡羽数の急増等の異常**を認めたら、**速やかに近くの家畜保健衛生所**まで！！